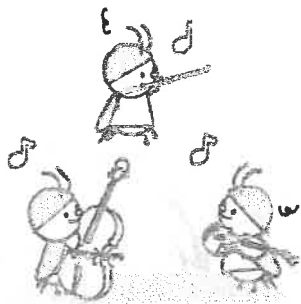




KSK あまねだより



(頒価 20 円)

発行 神奈川県障害者定期刊行物協会
 222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752
 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階
 横浜市車椅子の会内
 編集 あまね共同作業所
 239-0805 横須賀市舟倉 1-12-1
 TEL 046-835-0723 FAX 046-833-4062
 2018年10月12日 第413号

- 第41回きょうされん全国大会 IN 京都に参加してきました -

今年の中秋の名月は9月24日、雨が途切れ素敵な月が見えました。秋の気配を感じるなか月を愛で月見団子やお酒を楽しんだ昔の暮らしは風流だったな〜と感じると共に、ここ最近の自然災害の多さに気持ちが憂います。被害に遭われた方に対して心からお見舞い申し上げます。

9/21(金)~9/22(土)にかけて実施された「第41回きょうされん全国大会 IN 京都」にグループホームの仲間6名と職員3名・ボランティア1名の総勢10名で参加してきました。ここの所法人の事務仕事に追われ、仲間の方とゆっくりと関わる機会のない私にとって、楽しくまた刺激ある3日間を過ごしました。

今回は「ともに生きる ともに創る - 夢ある未来へ京都から -」のテーマのもと、全国から4,500名以上の参加者が集い、特別分科会と18の分科会、利用者フォーラムにわかれ全国の実践を学び交流を深めました。仲間の方は支援者3名と共に仲間のフォーラムに参加し、仲間企画のケロポンズステージを楽しんだり、組紐に苦戦しながら挑戦したりしていました。

私はただ一人第8分科会「地域・人づくり - 次世代につなげよう、地域に根ざしたとりくみを -」に参加し、和歌山県の社会福祉法人一麦会から2人の職員さんが、また東日本大震災の福島第1原発の被害によって帰宅困難地域から少しずつ解除され住民が戻りつつある福島県双葉郡で居宅介護等の事業を行っているNPO法人シェルパの方からそれぞれの実践を伺いました。一麦会はきょうされんが制作した映画「ふるさとをください」の舞台になった法人で、歴史を重ねながら今でもしっかりと地域に根をはった活動をしています。柔らかな独特の口調で語る実践は、気負うことなくそれでも家族や利用者の発した声から新しい取組「ピアサポートの会」【若い精神障害者の家族の会や発達障害のある家族の会、センター利用者の会、精神障害者の当事者の会、障害がありながら子育てをしているお母さんの会、痣と共に生きる会】を組織し、交流会の他、支援者養成研修や研修旅行の活動をされている報告がなされました。

その実践のなかでのキーワードとして、*ニーズや願いを敏感に受け止める *揺れも大事にしながら共に生きる⇔職員を肯定する *抱え込まない *支えられる関係作り - SOSは責任もって - 要求ではなく発信を - 遠い所ともつながる - それぞれに得手がある *地域を耕す - 10年経てば頼りになる存在に - を挙げられました。

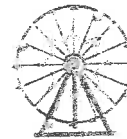
ともすれば、運動は要求になりがちです。要求ではなく発信を…行政に対しても面倒くさいと感じたことがない。こういうことに困っているという発信からは行政と共にいることができるという発言に、ここの所行政に対して怒りを感じ反発することが多い私の言動を改めて気を付けようと思いました。

NPO 法人シェルパの方の発言からは、当たり前前に暮らしていた地域が震災やその後の原子力災害によってなくなり、いまだに復興の進まぬ福島の現状が報告され心が痛みました。特にこの方たちが支援を実施している双葉郡は、私ごとですが弟家族が戻り生活をしている所でもあり、他人ごととは思えませんでした。この方たちの理念「共に住み、共に感じ、共に考える」- その一人の方と共にどう生きるか、その積み上げによる地域づくり震災を経験した私たちがつくる 誰にとってももの拠り所づくり - 根っこの部分は共通していると思

います。今まで行ってきた実践をどこまで継承し、次世代につなげていけるのか? 今考えなければならぬ時期であると改めて思いました。

3日目は、仲間のたつての希望でUSJ(ユニバーサルスタジオジャパン)に行ってきました。30数年ぶりのジェットコースターに改めて年齢を感じた私でした。

(海原・記)

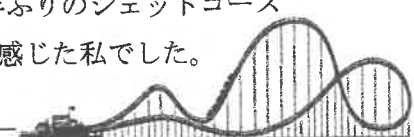


資源回収ご協力ありがとうございます

8月実施分は
 6.672 kg でした
 (奨励金は 26,600 円)

次回の日程は別紙にて
 お知らせします。

問い合わせは9:00以降にお
 願いいたします。



資源回収の折、バザー用品や寄付などを活用させていただきます。

プラザヨコスカ様・匿名2名様
 賛助会員の方から賛助会費を多く寄せて
 いただいています。感謝申し上げます。
 (順不同)

【きょうされん】

- 27日 あまねフェスタ
- 27日 かがみ田苑オープンデー
- 24日 NTT Docomo
- 13日 三浦しらとり祭
- 12日 13日 湘南学院学園祭

☆バザーの予定

- 27日 あまねフェスタ
- 19日 職員会議
- 17日 関係者対象説明会
- 14日 ふれあい運動会
- 13日 資源回収 舟倉・若宮台
- 12日 資源回収 岩戸・池田
- 5日 共同募金 街頭募金
- 3日 グループ活動

☆スケジュール?10月?





BBQ・かき氷

すいかわり・花火

尋常ではない暑さも和らぎ、ようやく秋の気配を感じるようになった今日この頃ですが、グループホームではこの鬼暑の夏、恒例のBBQで夏の暑さを乗り切りました。8月お盆の真ただ中、天候にも恵まれ、「蚊」とのバトルもなく、なかまの大好きなお肉を堪能し、大きなたらいに削った大量の氷に、小豆・シロップ・練乳をたっぷりかけ皆で取り分けて食べるスタイルのかき氷に冷っと涼めました。

辺りもようやく暗くなり、すいかわりに花火と・・・暑かったけど夏らしい行事を終え、もうそこまできているだろう秋を心待ちにするのでした。

富士山に想いを乗せて

「富士山がみたい!!」なかまの想いを叶えるために、9月初旬、河口湖に行ってきました。台風一過。前日の雨風からは想像できないほどの快晴で、富士山が私たちにどんな姿を見せてくれるのかを期待しながら出発しました。東名高速では、ほぼ



正面に雄大な姿を現し、富士五湖道路では真横を眺めるように、富士山は私たちを迎えてくれました。「ほらみて!みて!富士山だよ」「でも富士山はやっぱり、雪の帽子をかぶった富士山だよね?」という私の言葉になんのこっちょと言わんばかりに、なかまはきょとんとしていました。そうなんです、なかまはいつも夏の富士山を見る機会が多く、白い富士

山の印象がなかったのでしょうか。「わかった、今度は空気の澄んだ冬に、雪で化粧している真っ白な富士山を見に来よう!!」そしてなかまは富士山をみながら、手をあわせます。「鈴木さんが長生きしますように」ご自分のことより、私のことを願うその姿に私ももっともとなかまが幸せに過ごせることを、ハンドル握りながら願いました。富士山の裾野はすすきが高く伸び、一足早く秋を感じました。



いつも心の片隅に・・・



大切なあなたを失ってあっという間に一年を過ぎようとしています。今でも信じ難い出来事ではあるけれど、時は淡々と流れて行きます。短い秋が終わり、冬を越え、春が訪れ、夏が過ぎ、また秋を迎えます。その間に何度となく、あなたの眠る墓前へ足を運びます。花を手向け、線香の香りに包まれ手を合わせながら、決まって祈るのです。「ホームのなかまたちがいつまでも元気で、幸せに過ごせますように・・・」

いつでもさりげない笑顔の中に、温かさとしなやかさを兼ね備えたあなた。突然いなくなってしまっても不安が押し寄せて来たけれど、きっと大丈夫!!天の上からいつでもなかまたちを見守ってくれるから。そう信じて、先月もなかまたちと、あなたに会いに行きました。新しいなかまが二人増えましたよ。にぎやかになりました。

いつもまでもあなたのことは忘れません。いつも心の片隅に、あなたを想っています。いつでもあなたに会いに行きます。・・・大好きなあんぱんを持って。

たまにはホームでゆっくりと

グループホームで生活するなかまにとって、余暇活動は生活の一部、かかせないものであります。前の月に早々とヘルパーさんとの外出の希望を出し、心待ちにしているなかまは多いです。来月は映画!次はカラオケ!ボーリング!温泉!我々より、アクティブに活動しています。しかしながら今年は、殺人的な暑さ。外に出るのも、危険過ぎでした。そんな時は、たまにはグループホームでゆったり過ごすのも必要かもしれません。そこで活躍するのは、パソコンです。ネット配信された映画を冷房の効いているダイニングルームで鑑賞すると、そこはミニミニ映画館に早変わり。終了後は、昼食を皆でいただきます。こんな日があってもたまには良いですよ。

(記 鈴木)

あそびにおいでよ!あまねフェスタ!開催

2018.10.27(土)10:00-14:00

会場:あまね共同作業所

作業体験・軽食販売・ミニバザー他

皆様お越しく下さい!!

